

子育て支援企業に3団体

山口で認定書交付



小松原局長（右端）から認定書を
受け取る田中副学長

山口労働局は、働きながら子育てしやすい環境づくりを進めたとして、山口大、山口スバル、阿知須公立病院

通り順調に進んでいる。残る工事にも早急に取り組みたい」と述べた。

また被害が大きかった萩市では、復旧を進める公共土木施設と農地、農業用施設計744件のうち565件で工事が完了済み（6月末時点。完了率は約75・9%だが、本年度中に全て工事を終える予定という。

（門戸隆彦）

（いずれも山口市）を「子育てサポート企業」に認定した。小松原正俊局長（59）が、同市の山口地方合同庁舎で認定書を渡した。

山口大は県内の大学で初めて認定された。昨年度までの5年間に男性教職員9人が育児休業を取得。それ以前の5年間の2人から急増した。田中和広副学

長（63）は「成果が認められ、うれしい。性差のないキャンパスづくりに取り組みと喜んだ。山口スバルは、県内の卸売・小売業で初認定。子どもが小学校に入る前まで、短時間勤

務制度を利用できる。阿知須公立病院は県内最多の3度目の認定。60歳以上の職員向けの休暇制度を新設し、孫の育児への協力などを促している。

3団体は、認定マーク「くるみん」を求人などの広報に使用でき、税制優遇を受けられる。県内の認定は16団体となった。
（村田拓也）



中3対象に 来月練習会

ユースチーム
参加者募る

J3レノファ山口のユースチームが8月、山口市で中学3年生を対象にした練習会を開く。10月下旬のセレクションを前に、指導方針や練習内容を知ってもらおうのが狙い。参加者を募っている。

練習会は8月4日から26日までの火・金曜に午後5時から2時、山口市徳地船路のやまぐちサッカー交流広場で開く。20、21日は開催しない。2014年に発足したユースチームには、現在高校1〜3年の24

人が所属。市内の野田学園高に通う。中山元気監督（33）の指導の下、トップチーム昇格を目指して練習を積み、県ユースリーグ2部Aリーグを戦う。

参加者は各回10人程度。レノファのホームページ（HP）から応募用紙をダウンロードして記入し、郵送で申し込む。無料。締め切りは参加希望日の1週間前必着。レノファ山口 ☎083（941）6792。

ホームタウン
宇部市を追加
レノファ山口は、ホームタウンに宇部市を加えたと発表した。これまで山口、下関、山陽小野田の3市だった。宇部市は、市広報やホームページで試合